

番外編

ネットワークレポート

1月号で皆様にスニーカーの寄付のお願いをしたケニアの「モヨ・チルドレン・センター」(文中モヨ)主宰、松下照美さんより皆様へのお礼とともに今回の訪問についてのメッセージをいただきました。
※ケニア訪問記は8~9ページ参照

谷口奈保子さん(以下なおこさん)と、黒澤友貴さん(以下ともさん)がナイロビ空港に着かれたのは3月2日(金)の午後2時過ぎ。空港税関で皆様からご寄付頂いたギフトへのクレームに始まった今回のケニア訪問。ともさんが4日間しか滞在できないとあって、お二人のスケジュールはギッシリ!「ニュー・ホーム」の子どもたちとのお互いの自己紹介からスタート。多くの子どもたちはなおこさんのことはよく覚えている。と言うのも、モヨの居間には『なおこさんコーナー』があり、お便りやぱれっとの皆さんの写真、兎さんの人形が飾られているから。以前お送りいただいた船便のギフトも記憶に新しい。さて今回も皆様からのギフトが開けられた。歓声を上げる子どもたち!大量のTシャツに続き、筆記用具やクレヨン等々、続いて玩具、ハンカチ、チョコレート、ぱれっとクッキー、そしてスポーツシューズ!色々なギフトが出てくる度に歓声上がり、手が出る!靴のサイズを試す子、お気に入りのハンカチの柄を探そうとする子、早速玩具で遊ぼうとする子等々、騒然としてくる。それを静止し、落ち着かせようとするスタッフ。ケニアの子どもたちに思いを馳せつつ、呼びかけて下さった皆様、それに応じてご寄付くださった皆様、集めて下さった皆様、梱包して下さった皆様、美味しいクッキーを作ってくださった方々、そしてモヨまで運んで来てくださった、なおこさんとともさん。皆様に心からの感謝とお礼を。「本当に有難うございました!」と。それからともさんが帰国の途につかれる迄の4日間、ストリートの子もたちと話したり、農園の建築現場訪問、雨でぬかるんだドロドロ道のスラムを長靴で歩き、役員年次総会へも出席、帰国日の午前中には「知的障がい児、者の性の問題」についてのセミナー1回目と、直前までスケジュールはギッシリ。ともさんが帰られた後は、なおこさんは少しペースを落としたものの、「ニュー・ホーム」を中心に学校訪問、2回目のセミナー等々、精神的に動かれる。スタッフも皆なおこさんファン。困らせたり、驚かせたり、喜ばせたり。アツという間に9日間が過ぎ、なおこさんも日本へ。

今回のお二人のご訪問を通じて、なんと多くのことを学んだことか、皆様からのギフトを通じて、なんと多くの方々の暖かいお気持ちを頂いたことか!この場を借りて改めての感謝を!ありがとうございました!引き続きよろしくお付き合いいただけますように!!

2018年4月記 モヨ・チルドレン・センター 主宰 松下照美

【編集後記】前回までの「こんにちは理事長です」に替わり、今回からぱれっとつうしん編集委員による『編集後記』を掲載していきます。実はページ半分はこのコーナーのはずだったのですが・・・松下さんからの熱い想いが溢れるメッセージをほぼ原文のまま掲載したために、ほんのわずかになってしまいました。でもそこは想いを大切にすることが『ぱれっとつうしん』。これからも色々な人の想いが溢れる紙面作りを目指します!次号もお楽しみに!(みなみやま)